

ユーザーの視点に立った道路工事マネジメントの改善委員会

設立趣意書

国土交通省と警察庁は相互に連携して、交通渋滞の緩和等を図るための諸施策を推進してきたところである。道路管理者と都道府県警察、および占用企業者等も同様に、連絡協議会を開催し、毎年度の路上工事を縮減するための計画を策定し、工事の集中化等の諸対策を推進してきたところである。しかしながら、路上工事の実施のあり方については依然として批判の声が多く、縮減対策の効果も実感されていないように思料される。

そこで、道路利用者の立場に立った施策を一層推進するため、「ユーザーの視点に立った道路工事マネジメントの改善委員会」を設置し、国土交通省および警察庁が路上工事の更なる改善策を検討する上で必要となる、学識経験者や道路利用者の意見を収集し、施策に対する提言を行うこととなった。

本委員会では、構成員による審議を行うだけでなく、一般の利用者からの意見・質問等を募集し、委員会での審議内容に反映させることとする。

委員会の審議結果は施策提言として取りまとめ、関係各機関は相互に連携を図りつつ、提言を踏まえた施策を推進する。本委員会は施策提言後も施策に対するフォローアップ等を行うものである。

委員会のスケジュール

委員会は今年度4回の開催を予定している。

第1回委員会 平成15年6月23日

第2回委員会 7月頃

第3回委員会 9月頃

第4回委員会 平成16年3月頃